

分野：Ⅱ COPDに関する調査研究
① COPD患者の自己管理と重症化予防

Ⅱ－①

委託業務名：COPD身体活動性の長期維持に向けた具体的方策の探求

調査研究代表者氏名：南方良章

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	0人	1人	3人	2人	0人	2.83
(3) 研究計画の妥当性	1人	1人	4人	0人	0人	3.50
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.17
(6) 総合評価(第2評価)	1人	0人	4人	1人	0人	3.17
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.17

2 記述評価
・ラジオ体操とCOPD患者活動性の関連の基礎的資料が明確でない。 広範囲(全国的展開)に利用できる方策が未だ不明である。 ・症例の集積がもっと必要です。介入群に比べて対象群が少ないのも不十分な評価になります。さらに40歳以上を対象にしたラジオ体操を取り入れた流れもその成果の評価に関する指標も含めてもっと煮詰める必要を感じます。 ・これまで本調査研究には期待して来たが、今回の発表ではあまりに解析症例数が少なすぎるため、発表内容の統計学的意義が不明である。今後早急に対象患者数を増やす必要がある。 ・症例数の増加を含めて、次年度までには十分な成果を期待します。 ・ラジオ体操についても、十分な成果を期待します。 ・独創性のある多面的アプローチで研究を進めている。将来的にガイドラインに掲載されるような成果を期待する。 ・第12期から継続してきたメリットを活かして、特にCOPD患者への歩数目標値提供の効果に関するエビデンスを確立することを期待する。